

各位

大和リビング株式会社

佐賀県及び慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科と連携し、佐賀県内で「持続可能な地域社会実現に向けた社会実証プロジェクト」を開始しました。

大和リビング株式会社は、佐賀県で行われている「持続可能な地域社会実現に向けた社会実証プロジェクト」内で、「住民の屋内活動における社会行動変容に向けた実証」（以下 本実証）を開始しました。

なお、2023年7月7日に、持続可能な地域社会実現に向けた社会実証プロジェクトの報告会が佐賀県庁にて開催されました。

  <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 県内の住民・大学・企業、自治体等との連携</li> <li>✓ 県外の産学連携による先端技術、政策連携</li> </ul>		
プロジェクト1	プロジェクト2	プロジェクト3
住民の屋内活動における社会行動変容に向けた実証	住民の消費行動における社会行動変容に向けた実証	エシカル商品開発における新産業創出に向けた実証
<div style="background-color: red; color: white; text-align: center; padding: 2px;">住民</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>再エネ利用や節電</b> 家庭における脱炭素の具体法とは？</p> </div>	<div style="background-color: red; color: white; text-align: center; padding: 2px;">住民</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>エシカル消費</b> 社会・人・環境に優しい暮らしとは？</p> </div>	<div style="background-color: blue; color: white; text-align: center; padding: 2px;">産業</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>GX対応・CO2削減</b> 地場産業の差別化と新産業の創出</p> </div>

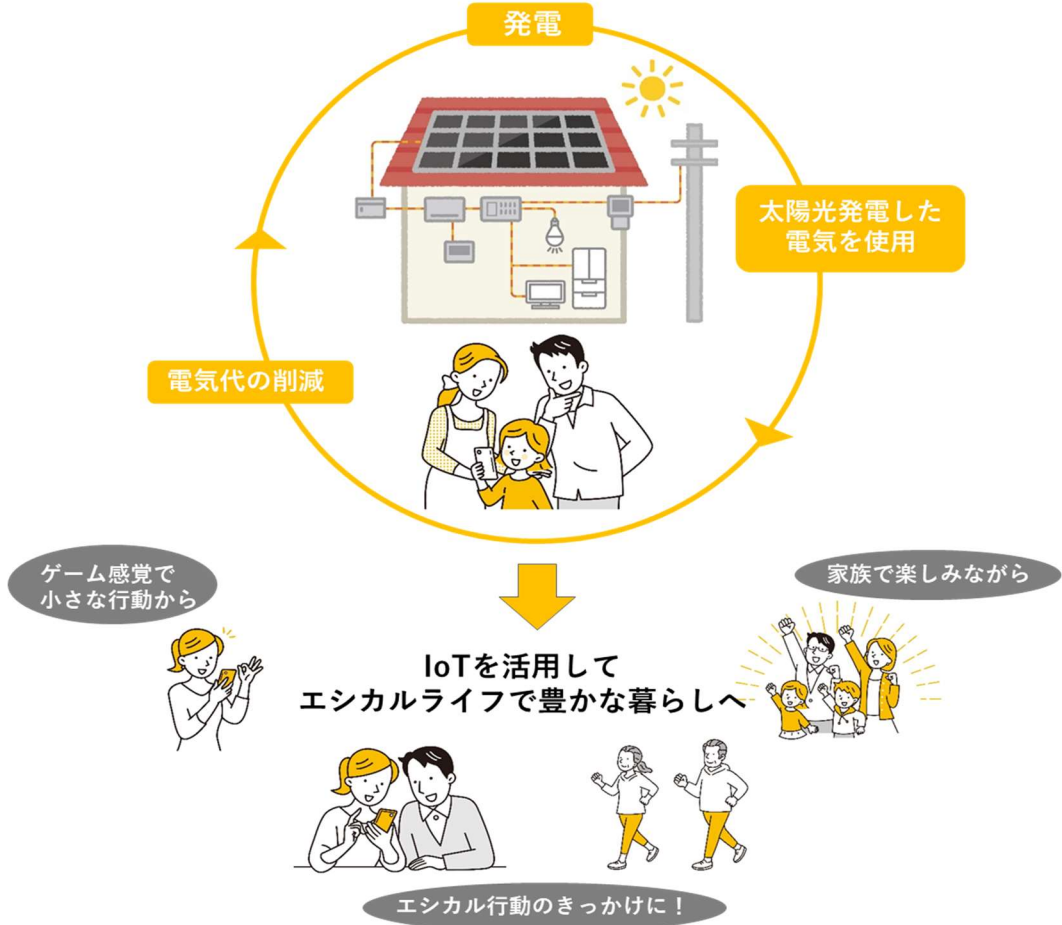
#### ■本実証の内容

本実証は、政府が掲げる骨太方針の一つであるグリーントランスフォーメーション（以下GX）に対応した住民・企業にとっても誇れる県ブランドを目指す「持続可能な地域社会実現に向けた社会実証プロジェクト」として、佐賀県と慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（以下 KMD）が脱炭素に向けた住民と地場産業の行動変容について検証するプロジェクトの一つです。

大和リビングは本実証として、佐賀県下の既存物件において、太陽光発電と蓄電池の導入による再生可能エネルギー地産地消モデルの構築や、住居 IoT を活用した環境にやさしいエシカルライフの提案を通じて住居者の行動変容を促すことで、住居者・地場産業・域外企業の連携による持続的な社会の実現を目指します。

■ 本実証のポイント

1. 太陽光発電と蓄電ソリューションを用いた既存物件の発電拠点化による持続可能な再生可能エネルギー地産地消モデルの構築
2. 住居 IoT による電力使用量と CO<sub>2</sub>排出量の見える化
3. 電力使用量削減を促すゲーミフィケーションアプリ導入による住居者の行動変容の促進



■ アプリ開発イメージ

発電量をリアルタイムで表示、発電量に合わせた行動を促す

発電量・使用量データに基づいたクエストでユーザーに気づきを与え、行動を促す

クエスト達成でポイント等インセンティブを付与。将来的に地域カービストの連携、地域還元を予定

家電別使用量を表示、ユーザーの使用状況に合わせた具体的な節電方法を提案

CO<sub>2</sub>削減量を表示、自らのエシカル貢献度合いを確認

将来的に電力使用量やCO<sub>2</sub>削減量をランキング表示。家族構成や生活リズムが類似した世帯との比較を可能に

※現段階での開発イメージとなります